

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来（政府高官・民間）訪沖

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-24 キーワード (Ja): 安川北米局長, 竹内駐米大使, 近藤外務審議官, 牛場次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43268

安川北米局長

引継番号 1477, 1478

整理番号 10, 11

要人往來 (…)

…

四一
一
十二
四

引継番号 1477, 1478

整理番号 10, 11

要人往来(1)(2)

より移し替之

吉田 2L 巻
12月 27

秘
無期限

北米局長

参事 眞

安全保障課長

北米課長

譯
並
帰
化
後
供
覧

安川北米局長訪沖随行報告

(4.1.12)
北米渡辺

安川北米局長は 1月12日(水)より14日(金)まで、沖縄事情視察及び米琉米琉地内情勢の懇談の目的を以て沖縄に出張された。その模様別添の通り報告する。

(随行 北米課 渡辺)

GA-5

外務省

15

日 報

1月12日(水)

11.00 羽田 発 JAL 721 (水)

(実際は約1時間遅延)

14.30 那覇 着

空港記者会見 (記手切換文別添1.)

民政府、琉球政府 参観

(~~2-12~~ 民政府不在のため 社丁副行

政府、ライマス 渉外部長、松岡

主席不在のため 小波藏 副主席 長嶺

立法院長不在のため 山川 副議長

(中松 上訴裁 主席判事)

南部戦跡参観

(G.M.Y.の塔 黎明の塔 島守の塔)

GA-5

外務省

19.00	マ-ケン 政論顧問主催晚餐 (マ-ケン、社説、ライマス、エバンス 衣類 部長、リチャードソン補佐、山本南連所長 金城一課長、石田二課長、上東平務下)
1月13日(木)	
9.00	米軍基地視察 (米陸軍担当官の案内により、那覇軍港物 資集積所、嘉久波基地、バウラー基地 等)
12.00	南連会計室に全取戻と会食
14.00	ワトソン高等弁務官訪問 (会談録 別添2)
14.30	中北部視察 (古宅、久護、多野長 マイクロレブス-ジョン 等)

GA-8

外務省

18.30	南連所長主催レセプション (招待者リスト 別添3)
20.00	松岡主席主催晚餐(記録別添4) (松岡主席、志元民主選副総裁、小波蔵副 主席、山本南連所長、当銀、具子隆、西崎 球政府局長) (薄次長)
1月14日(金)	
7.50	タイ、ホ-7、ミサイル試射見学
12.00	内外情勢調査会午餐 (記録 別添5)
那覇市内見学(模範農場、琉球大学、 博物館、江世、陶器工場等)	
17.10	那覇発 JAL 724
成程前 記者会見	

GA-8

外務省

20.00 羽田 着
(那覇 発が約1時間遅延のため)

秘
無期限

別添2

1/24
ワトソン
送付

安川局長 ワトソン 高等弁務官 会談
要録
(41.1.12.
半比渡)
安川北米局長は 1月13日 午後2時頃 約30分
間 ワトソン 高等弁務官を訪問 懇談した。会
談要旨 次のとおり (マーン 政庁殿内、山本南進
所長 等同席)
1. 局長より、今朝 米軍基地を見学してきた旨述べた
ところ、先方は、基地とそれ以外の地域が如何に
intermingledか (といたって interlocked
といふ方がよい) を分るべく、いかに分けよう、抑
米論として 基地を分離し、施政をそれに従って分
離する、言うまでもないが、実際には、むづかしい

のたごまると答えた。

2. 最近のハリウッドの新聞の報道に因

連し、先方は、日本がアジアにおける世論の報道
等に関連し、米側を静かに支持する努力を行な

の新聞の一部に

ていついし音を強調した。また日本では現
地の記者の書く記事を編集部がつかつか news

management の形でコントロールするが、行な
われないようにしたいと述べた。

3. 向長村、7月17日アソシエーツの "Japan in
Neutral" に言及したところ、先方は、この記事

の中には沖縄住民の現状は心をなやませるの
ように思われる云々の（傍）があり、最近の

USCAR の調査によれば、1965 年中に米国内情
の対沖縄支出（援助、消費支出等を含む）は

1億6,500万ドルに上る旨述べた。

4. 向長村、主席選任方法に因る最近の措置

を多とす旨述べたところ、先方は、英米両国から、こ
の措置がどのような結果を生ずるかについて

Keep fingers crossed だが、琉球政府の
責任の一つは、秩序を維持する点にあるのであ

り、立法院の混乱などが起らないように望ん
でいると答えた。

更に先方は、民主憲法に対し、選挙民の支持
をうける真の進歩を示す（~~必要~~ 具体策を講
ずるに）

ことと要求し、また、労働者層と婦人層に對
して何らかの行動を示唆した。いつか極く

ゆくりではあるが、成果が来たらしくそのと懸
待している と述べた。

5. 局長より「日米協調は韓国における沖縄の長期
 保有に不可欠。この在野勢力からの政策に不
 応のため、日本政府としては、日米協調により施政権
 返還に迫るべきである」との発言を述べた。この
 発言は、在野勢力の意見に示す通り、先ずは、日米
 関係と沖縄問題は不可分のものとして、
~~日米関係~~ 日米関係が火を振るうは避けられない。日
 本政府としては、日韓問題、航空協定の懸念に示す
 通り、日米協力関係は常に存在し、沖縄問
 題はそのコンテキストで考えるべきであるという主張
 は、その通りである。この点、マニラの政治
 顧問、教職員組合、復帰協会の代表に対して、
 発言は、沖縄の政策の要因は、能力がな
 いから、沖縄は安全である。沖縄は現存

る日米安全保障の一環の中にあり、もし、日米
 安全保障が沖縄の安全のためであるならば、具体的
 に示してほしいと、を説明した。この点、
 6. 局長より日米安全保障を保障に示された
 説明を行った。先ずは、同感の事を示し
 ながら、
 現在、沖縄を防衛する国は韓国以外にない
 であり、日本政府も、沖縄における米軍の存在が
 韓国を防衛するためであり、日本、沖縄の防衛の
 ためである事を述べた。この点、反対勢
 力からの施政権返還に反対の議論は、この
 点から、共同の目標を有する日米関係の全体的
 な関係の中に、この問題を置くようにしてほしいと
 述べた。沖縄住民も、自らが良き防衛を
 したい。経済的開発を進めたい（一別）とし

1. 米軍占領以来20年間で(国民の平均寿命が
丁度20年進んでいる)と知らねばならない。
沖縄の民主義が100%完全に行使されて
ないという事は、民主義が行使されていない
という事。(国民は、二、三分米国の施政の下
にあるから)と主張する事はない。これは
知らねばならない。とせば、誰かが、米
国人を人間性のある人と言っているのだ
と判言した。

南運社長主催北北共局長教世レビゴV白招待者名簿

日 曜 月 日 (水) 18:30 ~ 20:00 場所 軽井沢

行政主席	松岡 政保	神保千比 社長	吉岡 重剛
行政副主席	小波瀬 政元	時孝 通信	栗田 幸夫
監務局長	当 年 監 由 憲 久	朝日新聞	清水 野郎
主務局長	久 島 隆 才 隆	流 石 新 甫	長 野 隆 男
豊林局長	嘉 陽 幸 隆	正 同 進 信	高 橋 淳 一
建教局長	前 田 朝 信	丸 井 隆 藏	新 井 善 雄
学務局長	山 口 雅 三 郎	北 泉 金 融 公 庫 監 裁	崎 岡 政 隆
文 教 局 長	野 田 幸 隆	琉 球 電 力 公 社 監 裁	濱 野 善 雄
立 法 院	島 嶺 大 助	琉 球 水 道 公 社 監 裁	大 沢 博 幸
議 員	山 口 秋 夫	琉 球 銀 行 監 裁	崎 浜 秀 雄
副 議 員	山 口 秋 夫	琉 球 銀 行 監 裁	山 口 康 司
上 新 裁	仲 松 忠 夫	琉 球 高 等 学 校 監 裁	宮 城 正 四 郎
首席 理事	仲 松 忠 夫	副 監 裁	仲 田 史 雄 男
神保市財団 会長	仲 松 忠 夫	監 理 者	山 口 繁 男
神保市 市長	西 島 敏 一	日 勤 副 会 長	高 橋 正 二
那覇市 議会 議長	高 島 敏 一	副 会 長	高 橋 正 二
沖縄県 外 務 局 長	上 地 文 彦		西 崎 井 六 郎
琉球新聞社 社長	池 宮 定 尚	琉球大学 学 長	宇 里 数 彦 秀 祐
琉球放送社 社長	池 宮 定 尚	琉球大学 学 長	宇 里 数 彦 秀 祐
琉球放送社 社長	池 宮 定 尚	琉球大学 学 長	宇 里 数 彦 秀 祐

総 理 所

環球政府 (總務局)	
行政部長	行現秋夫
海外法務部長	宮良川英
(繪畫局)	
予算部長	星春夫
企画部長	大坂永夫
(主稅局)	
稅務部長	城間京保
那霸空港稅務部長	仲宗根感雄
(法務局)	
民事部長	新島十三
刑事部長	波島敦唯正
出入管理部長	垣花敬
那霸空港出入管理部長	福柳感德
(衛生局)	
民生部長	中山兼順
醫務部長	泉隆介
保健部長	洋本清

總理府

(農林局)	
環球農業試驗部長	新城重吉
(警察局)	
警察本部長	新垣敬重
(上新檢察局)	
檢察長	北島良一
事務部長	仲村兼一
(文教局)	
指導部長	松本泰
管理部長	星井新太郎
總務部長	小坂忠道
(勞務局)	
部長	田代春三
職安部長	久手野忠隆
(人権委員会)	
委員長	宮城亮雅
執行委員長	新垣敬重
委員長	本陽安春

總理府

(国作)

民進党政善会会長

星 克

済和会会長

桑 江 朝 幸

外池引揚有揚会会長

垣 花 忠 尚

信核会会長

川 平 朝 幸

中池有年会会長

尚 詮

中池有年会会長

依 川 光 裕

北国経済協会の会長

吉 佐 武 英 栄

琉大平協会の会長

兵 彦 貞 成 朝 潤

柳井市安里 33

本 忠 三

柳井市 27 前 66

安 里 穂 千 代

上之庄 176-1

住 摩 全 之 助

琉球水産会会長

山 川 宗 道

33

秘
無期限

松岡行政主席主催晩餐会 記録

(41. 1. 17.)
*北渡也

松岡主席主催晩餐会は、東京ホテル沖澤料理料亭で行われ、沖澤舞踊主人の非正式、社交的

なものであったが、席上沖澤側出席者の発言より、参考までに記録に止める。

講

1. 具体的事件としては、~~前~~前補償が先の日本政府見舞金との関係で二重取りに存在部分がある

との関係がその問題が出席者の間で論ぜられたほか、若元副総裁より、戦前の郵貯金の

の私用などの問題を解決して元々存在は、民生党の住民に好むし、そのほかの発言

と、南方諸島の署名を、本土各県は認められ

ているのは沖澤のみを認められているのは、善処に詳しいと電報が来た。(後者

について、沖が認められる覚の立場がよくない(~~覚~~覚が ~~覚~~覚)
覚が ~~覚~~覚

2. 上記のほかは、ほとんど松岡主席の発言した。

(1) ワトソン、ネビンは、ソ連の意向が筋が通ずる覚入りの意向が、マーンは日本人

をせかじりを知り、押えてるを知り、うらま、日本人を馬鹿にしている、自分は

マーンは大まら、彼は日米双方のためによくやる。

(2) 自分はキヤウレイと卓をた、いせりある、ワトソン、マーンとせりある

14) (二)で他の出席者から、自分がいかに米側を強くやりあてたいかの発言あり)

キャラウェイ 15) 自分は沖縄人権の点から、際
向 前回は自分を沖縄から追放するつもり

まきい、といつた、ワトソンにて、自分の辞任や
住民の間に騒ぎを起すぞという事で、
が切札)

16) 困るわけであり、沖縄では主席が米側に
反対し辞任する事は「OK」なのだ。

(12) 米国の第二次大戦が米国の支那、満州
に対する干渉のため日本人が憤慨に起る

たという事を認識すべきだ。
(4) 外務省は米側に弱腰で、総理府では

が強く思っているという事だ。
15) (局長より、沖縄問題は日米関係全体の

わくの中で解決すべき問題でありと述べた
のに対し。) それは自分も分るという事。

内外情勢調査会主催午餐 記録

(4.1.17.)
米北 渡辺

わたし

1. 新局長より約30分~~に~~ 特^にに用事があるとの。最近の北米向の仕事の紹介がたがた私見を述べた。前置きの上、ウエトナム問題につきハインリー、ハヤマン訪日を中心とする最近の動きと見と。おし、航空協定交渉の停滞。おとし、沖港問題。特に本問題が安全保障に因り日本国内安全体のコンクリートの中で解決されていくべき問題と見と。考えの旨を述べた。
2. ついで質問に移り、最近の本土国会は少数横暴で、民主主義の原則にやこい。この考え、ウエトナム問題の点と見とに、南米問題等が、存在した。

は、沖港問題については、(1) 基地分離を可能と考えるか。(局長より、米が分離が技術的

に可能か否か^か複雑な問題であるのみならず、可能であるとしても、その後、米が実際に work

するか否かが難しい問題であり、結局は米側との(交渉関係にか)かかろう。自分は絶対不

可能とは思われないが、容易だとは思われない。(答えた) との質問と (2) 米国は、北と米が対

この基地と沖港の基地を比較して、いかには沖港の基地が完全有用かを認識し、沖港住

1. 米主権公認に対する電報等に対する

既に対米援助を一層強化すべきであり、日本政府もその方向で米側に力らさなければならぬ。

あり、その発言もかあった。